

東 経 連 情 報

第 3 0 号 平成 2 6 年 1 0 月 2 2 日

「ミラノ工科大 東北の食ローカライズ・ワークショップ in 仙台」の開催について

当会が事務局を務めております『東北海外展開加速化協議会』（座長 東経連 専務理事 渡辺 泰宏）では、10月28日（火）から10月30日（木）までの3日間、仙台市ガス局 ガスサロン キッチンパレットを会場に、「ミラノ工科大学 東北の食ローカライズ・ワークショップ in 仙台」を開催します。

東北海外展開加速化協議会とは…復興庁の「新しい東北」先導モデル事業の採択を受け、東北の特産品（食品・食材）の海外輸出を促進する活動を行うために設置された官民の協議会です。

記

1 協議会概要

(1) プロジェクト 名称	東北発！海外展開加速化プロジェクト
(2) 目 的	輸入条件の厳しい欧州や米国に対してもチャレンジできる東北産品の輸出拡大モデルを構築する
(3) 構成団体	岩手県、宮城県、福島県、石巻市、東北観光推進機構、日経BP、東北経済連合会（事務局）
(4) 期 間	平成 26 年度事業（平成 27 年 3 月 31 日まで）
(5) 取組内容	① 戦略的な商品選定 ② 産地商品のローカリゼーション（現地に応じた商品改良） ③ 効果的なプロモーション戦略の策定
(6) 今後の予定	・ Eコマースサイトでのテスト販売 ・ ミラノにおいての各種マーケティング調査 など

2 「新しい東北」先導モデル事業 概要

(1) 主幹省庁：復興庁

(2) 事業の趣旨：

「新しい東北」の実現に向け、被災地で既に芽生えている先導的な取組を育て、被災地での横展開を進め、東北、ひいては日本のモデルとしていくため、先導的な取組を幅広く公募し、支援を実施。

（『「新しい東北」先導モデル事業 平成 26 年度事業の選定について』より抜粋）

以 上

【ご照会先】一般社団法人 東北経済連合会 地域政策グループ 平澤、藤原、高田

電話：022-799-2104 FAX：022-262-7062

ミラノ工科大学 東北の食ローカライズ・ワークショップ in 仙台 開催概要

東北海外展開加速化協議会は、10月28日（火）から10月30日（木）までの3日間、仙台市ガス局 ガスサロン キッチンパレット を会場に、「ミラノ工科大学 東北の食ローカライズ・ワークショップ in 仙台」を開催します。

東北海外展開加速化協議会は復興庁の「新しい東北」先導モデル事業の採択を受け、東北の食品・加工食品海外展開を加速化する事業に取り組んでいます。

今年度は、来年食の万博が開催されるイタリアの市場を目標に、海外展開のための商習慣や規制の調査、マーケティング調査などを行っています。今回のワークショップは、その一環として、海外展開に意欲のある事業者の方々に参加していただき、自社製品を輸出先の市場に合わせて現地化（ローカライズ）するための方法を学ぶことを目的に開催するものです。

講師にはミラノ工科大学から異文化交流に豊富な経験を持つデザインの専門家、スローフードの専門家を招き、日本からは発酵料理の専門家がアドバイザーとして参加します。

■テーマ

「日本（東北）とイタリアの融合、新しい食の発見」

■概要

東北の食品のパッケージ、ラベル、味についてイタリア市場向けの現地化を試みます。味については、それぞれ独自の食文化と歴史を誇る日本（東北）の食材とイタリアで普段身近に使われている調味料を持ち寄り、イタリアの調味料と東北の食材の組み合わせによる、イタリア人に喜ばれるレシピの開発を目指します。ワークショップ参加企業は自社製品を持参し、日本とイタリアの食の融合を図ります。

■キーワード

味覚、文化、伝統、特産品、組み合わせ、ハイブリッド、革新的、探検

■会場

仙台市ガス局 ガスサロン キッチンパレット 仙台市青葉中央2-10-24

■参加企業

10月14日（福島県）、10月15日（宮城県）、10月21日（岩手県）にて開催されたセミナー参加者を中心に応募のあった東北の企業十数社。

■開催日時

10月28日（火）～ 10月30日（木） 9:30～17:30

■ワークショップスケジュール

10月28日（火）

- 9：30 受付開始・集合 参加企業はワークショップで使用する自社製品を持参。
- 10：00-10：30 参加者自己紹介
- 10：30-12：00 参加者グループ分け→グループ毎にディスカッション
- 12：00-13：00 昼食・休憩
- 13：00-15：00 グループワーク（パッケージ&ラベルのローカライズ）
- 15：00-16：30 グループワーク（味のローカライズ）
- 16：30-17：30 成果発表

10月29日（水）、10月30日（木）

- 9：30 受付開始・集合 参加企業はワークショップで使用する自社製品を持参。
- 10：00-10：30 参加者自己紹介
- 10：30-12：00 参加者グループ分け→グループ毎にディスカッション
- 12：00-13：00 昼食・休憩
- 13：00-16：30 グループワーク（パッケージ&ラベルのローカライズ、味のローカライズ）
- 16：30-17：30 成果発表

東北海外展開加速化協議会とは

東北海外展開加速化協議会は、復興庁の「新しい東北」先導モデル事業の採択を受け、東北の特産品（食品・食材）の海外輸出を促進する活動を行うために設置された官民の協議会です。東北経済連合会、岩手県、宮城県、福島県、石巻市、東北観光推進機構、日経BP社が構成メンバーとなっています。

■問い合わせ先

（一社）東北経済連合会（東北海外展開加速化協議会事務局）

担当：地域政策グループ 高田

電話：022-799-2104 FAX：022-262-7062 e-mail：y-takada@tokeiren.or.jp

ミラノ工科大学講師&アシスタント プロフィール

Alessandro Biamonti (アレッサンドロ・ピアモンティ)

Ph. D



インダストリアルデザインおよびマルチメディアコミュニケーションの Ph.D. ミラノ工科大学では教育とリサーチに携わる。Lab. I. R. Int (インテリアイノベーションリサーチ研究所) に参加。同大学のインテリア・リサーチ・ユニットとデザイン Ph.D コーディネーションボードのメンバーであり、連続講座や国際イベントのオーガナイズに関わる。ブラジルのミナスジェライス州大学デザイン研究センターのサイエンティフィックコミッティの一員でもある。シエナ大学のコミュニケーション環境デザインの客員教授。リサーチでは特に、文化の違いとそこから発生する社会的な意識の違いを重視しており、フィンランド、ノルウェー、スペイン、フランス、ポルトガル、韓国、ロシア、イラン、日本などの国際学会で調査結果を発表している。ミラノ工科大学と東京大学 i. school が共同で行った「MARU」プロジェクトでイタリア側スタッフを主導。気仙沼でフィールドワークを行って、東北への知見がある。

*「MARU」プロジェクトは、地方にある資産を掛け合わせて新しいものを生み出し、地方を活性化することを目的とするプロジェクト。

Giacomo Miola (ジャコモ・ミオーラ) Phd.



Lab. I. R. Int のメンバー。サステナブルな文脈の中で食品の製造、流通、改良などにデザイナーがどう関わっていけばよいかを研究している。スローフード協会のメンバーとして、“Colle dell’ ara” プロジェクトを立ち

上げ、今も指導している。このプロジェクトは、生産的な農村において新しい食のサービスと宿泊サービスを開発しようという実験的な活動。

Silvia Maria Granegna (シルヴィア・マリア・グラメーニャ)



ミラノ工科大学博士課程で学ぶデザイナー。人類学的なアプローチによるデザイン開発と、ソーシャルイノベーションが直近の研究テーマ。Lab. I. R. Int のメンバーとして、数多くの国際的なワークショップやリサーチプロジェクトに関わってきた。ミラノ工科大学と東京大学 i. school が共同で行った「MARU」プロジェクトでは気仙沼でフィールドワークを行い、東北への知見がある。

■ 日本側アドバイザー プロフィール

伏木暢顕 (ふしき・のぶあき)



(株) 醸 Kamose 取締役。醸造料理人であり、日本の発酵食文化伝承人。発酵教室の講師としても活躍し、現在の『発酵食』『麹』人気の立役者の一人。最近では、飲食店のメニュー開発のエキスパートとしてフードコンサルティングも手掛け、日本各地にて人と文化と発酵を通じての地域活性化、蔵の存続に力を注いでいる。これまでの著書は11冊を数え、2014年も著書数冊を発売予定。イタリア・ミラノ、スペイン・バルセロナでのイベント・教室やアメリカ CIA 料理大学での講演など2014年からは海外へ日本の発酵文化をアピールすべく活動を開始。雑誌の連載やNHK ラジオ第1『すっぴん!』の金曜日レギュラーをつとめた。